

佐賀県玄海水産振興センター研究報告

第9号

目次

(原著)

唐津市大浦浜地先におけるマナモコ増殖と漁獲量との関係……………1-4
永瀬りか・金丸彦一郎

貧酸素条件下におけるマナモコ稚仔の生残について-I……………5-8
福元 亨・重久剛佑

アカウニの身入りと呈味特性に及ぼす給餌海藻の影響……………9-13
豊福太樹・吉田幸史

ケンサキイカ稚仔が捕捉する動物プランクトン種……………15-18
豊福太樹・大隈 斉

温排水影響下における潮干帯生物の変遷-II……………19-24
伊藤毅史・藤崎 博

対馬東水道及び周辺域の鉛直断面からみた水温躍層の形成状況……………25-29
永瀬りか・金丸彦一郎

(妙録)

ケンサキイカ幼稚仔における色素胞配列と発光器の形成状況……………31
豊福太樹・和田年史

日本海と対馬東水道で秋に漁獲されたケンサキイカのふ化場所と移動行動に
関する平衡石を用いた分析……………33
山口忠則・川上雄士・松山倫也

日本の太平洋側で採捕されたケンサキイカの移動経路を明らかにするために
利用した平衡石分析と粒子追跡実験……………35
山口忠則・明田川貴子・宮本真由美・広瀬直毅・松山倫也

(ノート)

唐津湾における底質と底生生物……………37-40
伊藤毅史・藤崎 博

佐賀県唐津港におけるハタ類5種の水揚量
～クエ、キジハタ、マハタ、アオハタ、アカハタ～……………41-44
堤 裕紀・藤崎 博

佐賀県における沿岸漁業へのICT技術導入の取組
～漁場の海洋環境の見える化で沿岸漁業者をサポート～……………45-48
伊藤毅史・藤崎 博